

保護者のみなさまへ

郡山市立桑野小学校長 吾妻 敦

本校教育に関するアンケート調査結果と次年度の通知票二期制に伴う

評価制度変更のお知らせ

保護者のみなさまには学校アンケートのご協力をいただき、ありがとうございました。その結果をまとめ、本校では早速改善に向けて話し合い、新年度の教育課程にも反映させたところです。保護者のみなさまにはアンケートの中から一緒に確かめていきたい内容、改善を図っていきたい内容についてお知らせいたします。なお、各学級個別にいただきました感謝や指摘、改善点に関しましては、担任、管理職が全て目を通し、今後の改善に向けた対応を図っていることを合わせてお知らせいたします。

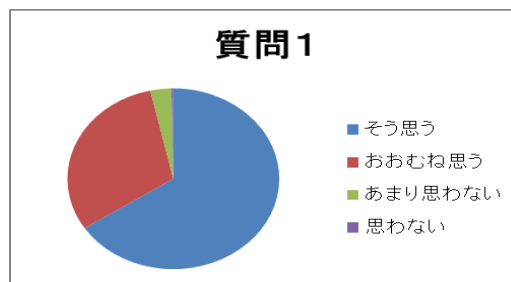
また、同じく昨年に保護者の皆様から次年度の通知票二期制に伴う評価制度の変更についてのご意見をいただきました。保護者の皆様のご意見を受け、本校でも再度検討した結果、学習評価を二期制にする方が子どもにとってメリットが大きいと考え、次年度は二期制に変更することにしました。皆様からいただきましたご意見と一緒に綴じられました紙面に掲載いたしましたので、ご覧いただければと存じます。

○学校へのアンケート

質問 1

「子どもは楽しく登校しているか？」

とても楽しく・おおむね楽しく→98% と、どの学年でもとても高い数値です。保護者の目線からもお子様はおおむね楽しく学校に来ていると言えます。もちろん「楽しくない」という少数のご意見も大事にして、改善を図っていききたいと思います。



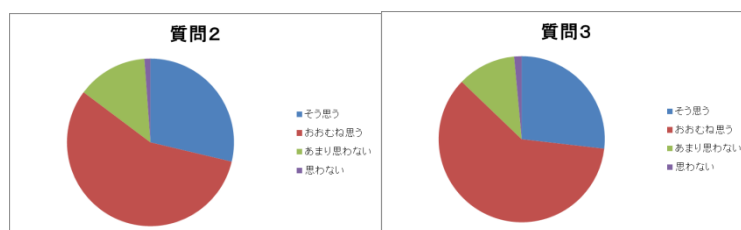
質問 2・3

「授業は分かりやすいか」

「学習は身につけているか」

これは学年に上がるごとに低くなっています。学習の内容が高度になり、量も多くなることから、お子様が学習を理解していくことが難

しくなっていると感じているのだと思います。よく小4ギャップなどと言われるのですが、一般的に、内容が高度になる4年生くらいから急に学習の理解が難しくなる子どもがでると言われます。学校でもどう子どもに学習させていくことがよいか、授業の改善に教職員が取り組んでいるところ です。



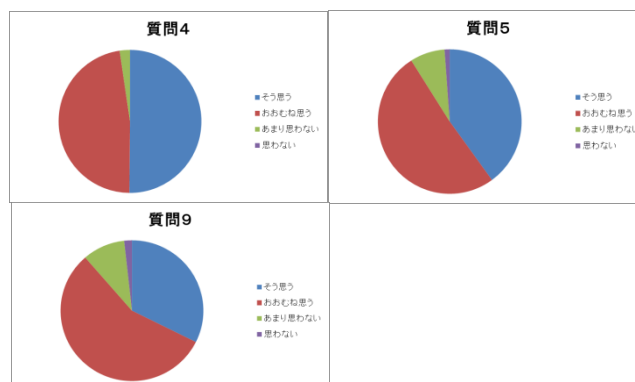
質問 4・5・9

「優しさ・思いやりが育っているか」

「きまりを守っているか」

「交通安全のルールを守っているか」

育って(守って)いる・おおむね育って(守って)いる→平均で95%でした。桑野小学校の教職員、保護者が子どもと子どもとの関わりを大事にしてきた成果だと思えます。



質問 6・7・8・10

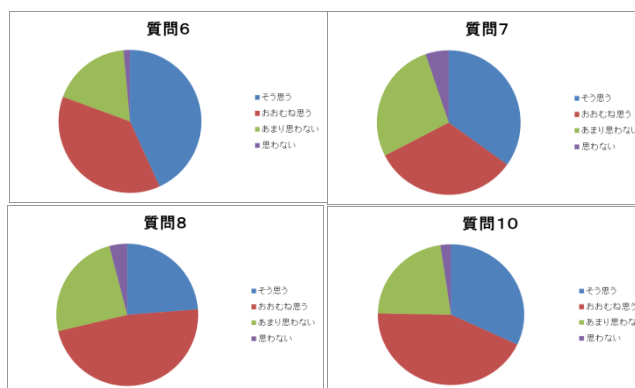
「進んで運動する」

「進んで読書する」

「進んで家庭学習する」

「正しい生活習慣」

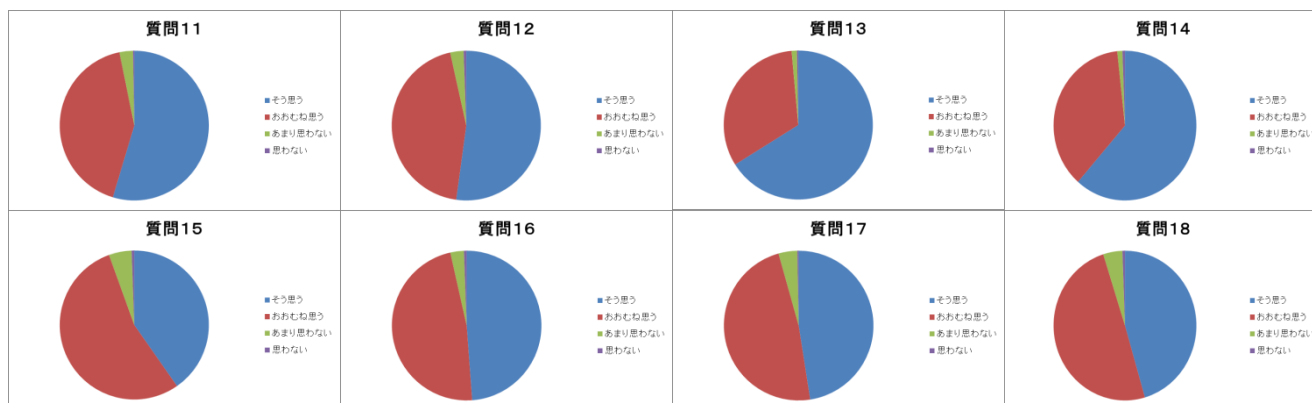
これも学年が上がるごとにデータが落ちていきます。「言われないとやらない」「自ら進んでやろうとしない」「関心がない」など、理由は様々だと思います。では、その時間何が増えているのかというとゲーム、テレビ、ネット(保護者質問5と関連)となっています。子どもは成長し、自分の考えをより強く出すようになります。ですから「任せる」ことが大事になりますが、決して「放任する」ことのないように、家族で話し合い、子どもに計画性を持たせていくことが重要です。



質問 11～18

「教師は一人一人を大事にしている」「分かりやすい授業か」「教育相談にのってくれる」「学級・学校からの情報伝達、情報発信」「学びやすい環境」「開かれた学校」

これらは「おおむね」を合わせるとだいたい95%で肯定的な意見でした。日頃の教育へのご理解ありがとうございます。これからも保護者の皆様と一緒に子どものよりよい成長、そして情報発信に努めていきたいと思ひます。

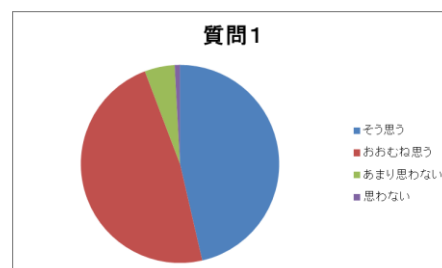


○家庭状況のアンケート

質問 1

「お子様の生活習慣に気をつけている」

データを見ると子どもの成長に合わせて、上の学年になるほどあまり口を出さないようにしたり、任せたりしている様子が見て取れます。

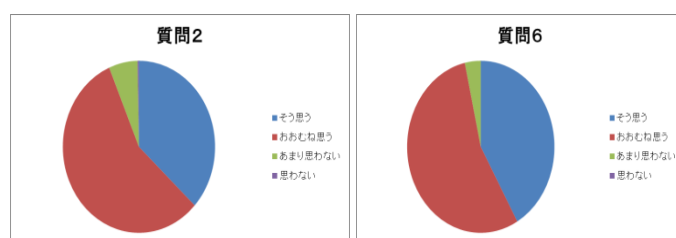


質問 2・6

「バランスのとれた栄養に心がけている」

「1日のできごとを会話している」

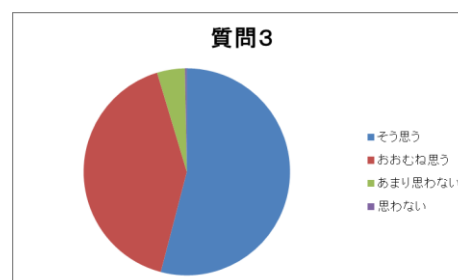
「心がけている」「おおむね心がけている」で90%ほどですが、他のアンケートに比べて「おおむね」と答えている方が多いのが特徴です。学校でも肥満傾向の子どもが全国データよりも高いことが指摘されています。バランスを考えた食事を家庭でも大事にしていきたいものです。



質問 3

「医療機関を受診させている」

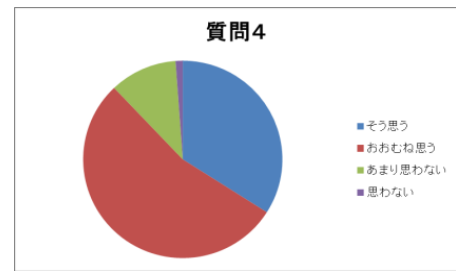
これも「おおむね」を入れると95%ほどになりますが、一方で未受診の子どもが複数あります。受診率はまだ全国平均よりも低いのが現状です。特に歯など、将来に大きく関わるようなお知らせについては、いち早く受診されることをお勧めいたします。



質問4

「休日は身体を休ませている」

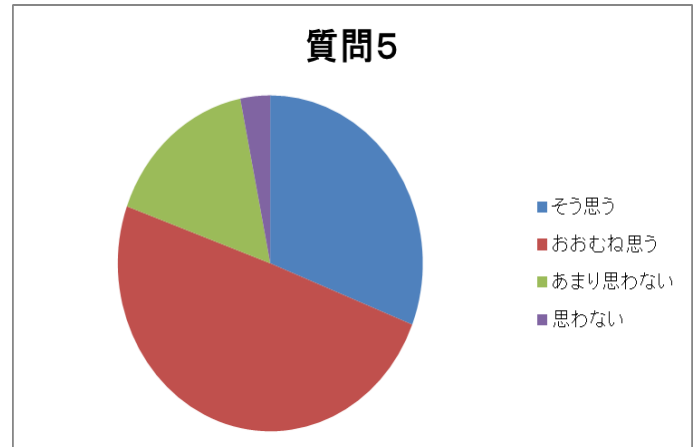
これも学年が上がるほどデータが悪くなります。高学年では月曜日は疲れていて授業に集中できない子どもや保健室で体調不良を訴える子どもが多くなります。月曜日に疲れの残らない休日の過ごし方を考えて行く必要があります。



質問5

「テレビ・ゲーム・ネットを制限している」

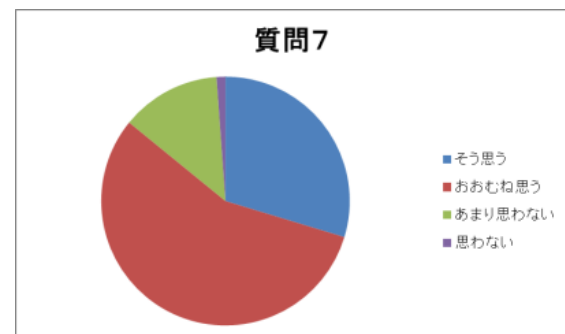
このデータは高学年になるにつれて悪くなりますが、今回のアンケートの中で最も心配される結果でした。全国学力調査でも、桑野小学校ではテレビ・ゲームの時間が全国平均を大きく上回っていることが分かっています。今回のアンケートはそれを裏付けるデータでした。また、そうしたテレビやゲームの時間が長い子どもほど学力が低い傾向になることも全国学力調査では指摘されています。お子さんと時間の使い方について、計画的に考えていけるように、家庭でのルール作りをすることが大事なのだと思います。



質問7

「学校行事・PTA 活動に積極的である」

「おおむね」を入れると約80%程度の数値になります。お仕事の都合などでなかなか来校できない方もいらっしゃると思いますが、学校と共にお子様を育てていくという観点で、引き続き今後も学校を通しての関わりを大事にしていだければと思います。



○評価の二期制について

保護者のみなさまから多数のご意見いただきました。ありがとうございました。以下に皆様のご意見をご紹介します。

- 教育相談は全員が必ず受けられるようにして欲しい。希望制ではなく全員必修の強制にして欲しい。(1学年保護者)
- 1学期末、2学期末のテスト・評価や、教育相談を行う期間は短縮時程となるのでしょうか。これまでと比べてもトータル的には短縮日数があまり変わらないのではないかと思います。また、それらを行うことで先生方の負担が増えてしまうことにはならないのかと、心配もあります。(1学年保護者)
- 通知票の二期制に書いてあったデメリットに対して対応策が取れているために安心しました。また、教育相談に関しては保護者からの希望制ということでしょうか？保護者が大丈夫と思っていても子どもの様子に変化があれば学校側から呼びかけ(声かけ)をしてもらえると良いかと思います。友人関係に関しては授業参観や学校行事等で確認していきたいと思います。(2学年保護者)
- 2学期制になれば先生方も時間の「ゆとり」が持て、子どもへの評価が行われるのは良いことだと思います。ただ授業時間が増えることで、子どもに詰め込みすぎるような学習内容にはして欲しくないです。また、テストの範囲も広くなると思いますのでより一層丁寧な指導を望みます。進級する場合の時間割等を早めにいただければ個人的ですが、習い事をしている家庭では時間のやりくりに助かるので進級する前に目安としていただきたいです。(3学年保護者)
- 新しい学習指導要領に合わせて、先生方、子どもたち、保護者のことを考えた画期的な対応策だと思います。これまでより全てにおいてプラスになると思います。ただ私は常任委員会の時にきちんと説明いただいたので学校側の思いやこれからの変化について納得することができましたが、書面だけでは十分理解できない保護者も多くいるのではないのでしょうか。(3学年保護者)
- 結論から申しますと二期制の導入は賛成です。授業時数が増え、質や内容の向上を考えると先生方がしっかりと準備し、一人一人の子どもたちの理解度に合わせ、ゆったりとした気持ちで取り組むようにするためには、昔から続いているシステムの見直しも必要と思います。また、教育相談の回数を増やすことで、学校側と親が子どものことについて話し合い、相互理解を深めていけることは良いことだと思います。(4学年保護者)
- 到達度グラフ2回、通知票2回でかえって先生方の負担が増えるように思えます。子ども達にとっても3学期制なのに通知票が2回(+到達度グラフ2回)は分かりにくいのでは。現状のままだがよいと思います。(5学年保護者)
- 全てお任せしてお願いします。ただし道徳は一般常識が通用する行動言動等について教えていただければと思います。例えば、年配者、友だちに対しての他人の迷惑にならないような・・・(相手のことを思うやさしい心)(自分中心ではなく思いやれるような行動)(5学年保護者)
- 常任委員会で二期制について先生から説明を受けました。3学期は約50日と短いので授業内容も1年のまとめになってきていると思うので、それで通知票を付けるのは大変だと思います。そのために子どもの下校時間が早くなるので二期制でいいのではないかと思います。新しい時代に合ったやり方を取り入れていくことも大切だと思います。(6学年保護者)

こうした貴重なご意見を受けて、校内で再度検討した結果、来年度、二期制に移行していくことにしました。学習を二期制にすることで授業の計画は大きく合理化されました。その分、教職員は子どもと向き合い、授業に専念できる時間が取れるようになります。

一方で、こうした見直しを進めても、3年生以上で20時間ほど授業時数が増えたことで、来年度から火曜日も6校時となります。そして2020年度(平成32年度)にはさらに20時間授業時数が増えることが決まっており、時間割の時数を増やさなければ対応できない状況になることも予想されます。こうした状況下にあっても子どもたちが不利益を受けないような制度設計を、今後も保護者のみなさまと共に、検討を重ねていかなければならないと考えております。

なお、来年度から始まる学習評価の二期制については、4月に行われるPTA総会の時に、教務主任より保護者のみなさまに直接ご説明する機会を設けます。どうぞよろしくお願いいたします。